

コスモ石油エコカード基金

活動報告書

2013

第11期2012年4月1日～2013年3月31日

コスモ石油  
エコカード基金

「ずっと地球で暮らそう。」

**P1** ●ずっと地球で暮らすために、  
私たちが取り組んでいること  
●理事長メッセージ

**P2** ●「ずっと地球で暮らそう。」  
プロジェクトについて  
●10周年記念企画  
「種まき塾の里親プロジェクト」  
その後の生育状況報告

**P3** ●エコツアーを各地で開催  
●トピックス

**P4~5** ●各プロジェクトの2012年度  
取り組みレポート

**P6** ●収支報告  
●コスモ・ザ・カードのご紹介

**P7** ●2013年度エコツアーのお知らせ  
●マングローブボールペンのご紹介  
●アンケート

**P8** ●ホームページのご紹介  
●クリック募金のご紹介  
●トピックス

# ずっと地球で暮らすために、 私たちが取り組んでいること

皆さまからの寄付金で、2012年度は16カ所、14プロジェクトを支援しました。  
それぞれのプロジェクトパートナーとともに、日本や世界各地で行った活動をご報告します。  
皆さまの寄付金500円が、地球環境を守る力になっています。

## 私たちの取り組みマップ



地図に掲載したプロジェクトの詳しい活動内容は  
4～5ページの活動報告ページをご覧ください！



コスモ石油エコカード基金  
理事長

桐山 浩

### 理事長メッセージ

## 地球環境のためにできることを、会員の皆さまとともに

このたび、コスモ石油エコカード基金理事長に就任いたしました桐山浩と申します。どうぞよろしくお願いいたします。  
コスモ石油エコカード基金では「国内外の環境修復と保全」と「次世代の育成」を柱に、持続可能な社会の実現をめざしています。  
2012年度は国内外で活動するNPO等のパートナーとともに、14のプロジェクトを展開しました。各プロジェクトでは、日々の努力の積み重ねにより着実に成果を出しています。「内モンゴル緑化」と「北タイ山岳地帯 共有林地図作成」の2プロジェクトにつきましては、それぞれ活動の目標を達成し、今後のさらなる発展が期待できるプロジェクトとなったため、2012年度をもってエコカード基金を卒業となりました。

また昨年、基金10周年を記念して実施した「いのちとココロを育てる「種まき塾の里親プロジェクト」」で会員の皆さまに育てていただいた苗は、北海道で順調に育っています。今後もこの活動報告書や季節のお便りなどで、定期的に経過を報告していきます。  
エコカード基金では引き続き、各プロジェクトと、基金の理念に賛同し支援して下さる会員の皆さまをつなぐ役目を果たしていきます。そのために、会員の皆さまにわかりやすく透明性の高い報告を行うことはもちろんのこと、各プロジェクトを身近に感じていただけるようなエコツアーも実施していきます。  
今後とも皆さまの温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



# コスモ石油 エコカード基金

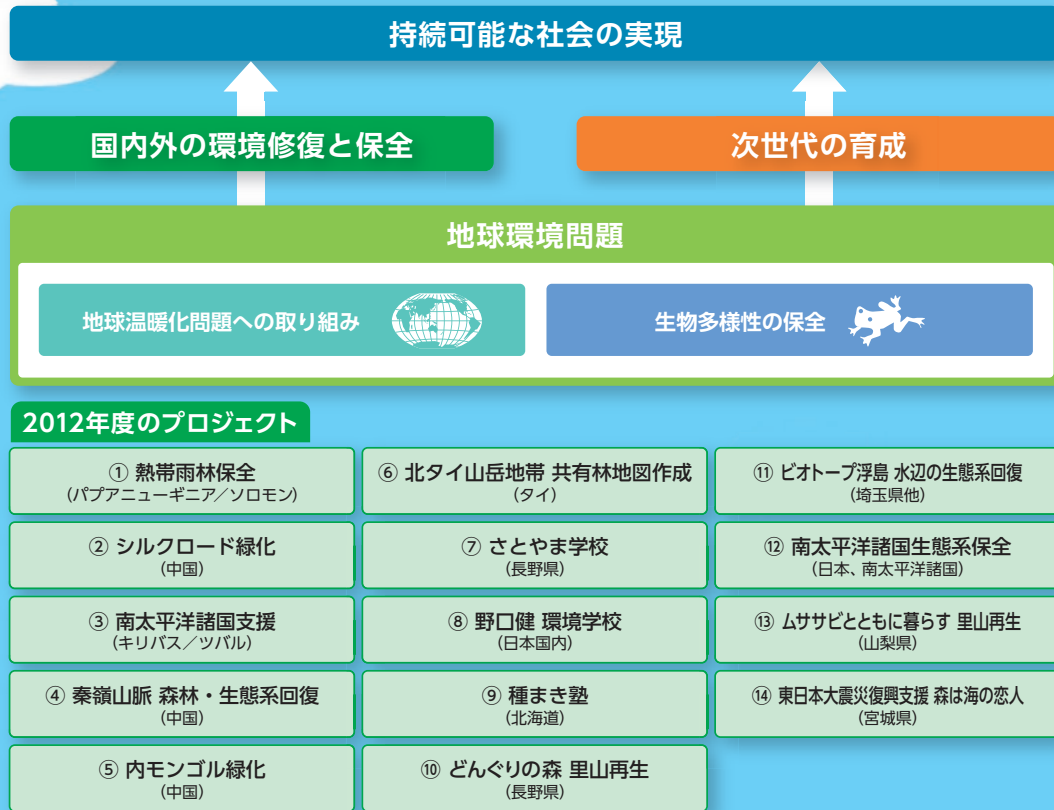
## 「ずっと地球で暮らそう。」 プロジェクトについて

コスモ石油エコカード基金では、「国内  
外の環境修復と保全」および「次世代の  
育成」をテーマに、持続可能な社会の実  
現をめざしています。

本基金で展開している「ずっと地球で  
暮らそう。」プロジェクトでは、「地球温暖  
化問題への取り組み」と「生物多様性の  
保全」という2つの分野について、環境問  
題には、貧困、食糧難、教育など、さま  
ざまな社会的な課題が密接に関連してい  
るという現実を踏まえ、本質的な問題解  
決に取り組んでいます。

各プロジェクトには、エコカード会員  
の皆さまから毎年お預かりしている500円  
の寄付とコスモ石油グループからの拠出  
金を、各プロジェクトの活動予定に応じて、  
支援金としてお渡ししています。2012年  
度は14件のプロジェクトを支援しました。

※収支報告の内訳は6ページをご覧ください。



### 10周年記念企画

#### いのちとココロを育む「種まき塾の里親プロジェクト」 その後の生育状況をお知らせ

2011年に1,352人のエコカード会員に参加していただいた「種まき塾の里親プロジェクト」。  
今年の春には約1年半が経過しました。エコカード基金事務局では、6月5日に現地を視察し、  
種まき塾のスタッフに苗たちの生長ぶりを取材してきました。

#### 教えて!①

里親の皆さんから返送いただいた時に芽が  
出ているのはほとんどハルニレで、エゾヤ  
マザクラはまだだでした。今の育ち具合  
はいかがでしょう?

答え ハルニレ、エゾヤマザクラ両方とも順調  
に育っています。どちらもこんなに生長  
するとは思っていませんでした。返送して  
いただいた732個の苗ポットのうち、7~8割の苗  
ポットで合計千本くらいが生長しています。小  
さいものもありますが、大きいものは40cmく  
らいに育っています。

#### 教えて!②

冬を越えて、これからどういう世話をして  
いくのでしょうか?

答え 今年の冬は、小さいものはポットのまま、  
大きいものは横向きにして地面に植えて  
冬を越しました。横向きにするのは雪の重さで  
折れないようにするためです。雪の季節を過ぎ、  
6月になった今では生き生きと葉を伸ばしてい  
ます。これからは、生長の良いものは苗畑に植え  
かえ、そうではないものはしばらくポットのまま  
育てます。ポットは乾燥が大敵なので、こまめ  
な水やりが大事です。また、雑草とりも必要で  
す。次の冬までには、みんな苗畑に植えてあげ  
たいですね。生長がいいので、来年度ぐらいいは植  
林できるかもしれません。

ハルニレは  
大きいもので  
35cmくらい

エゾヤマザクラは  
大きいもので  
40cmくらい

横向きにされていた  
苗も生き生き!

ポットのまま育つ  
たくさん苗

= 苗木供給基地 =  
**ふらの種まき塾**  
コスモ石油  
エコカード基金

## エコツアーを各地で開催

2011年度に新しくスタートしたプロジェクトは、「生物多様性」をテーマにしつつ、エコカード会員の皆さまが参加していただけることも重要な目的でした。「ビオトープ浮島づくり体験」と「ムササビのすみ森でクルミやブナの植樹体験」を、あわせて4回開催しました。

### ビオトープ浮島づくり体験

香川県と埼玉県でそれぞれ1回ずつ開催し、総勢23人のエコカード会員とご家族・ご友人が参加しました。第1回目は香川県まんのう町の国営讃岐まんのう公園(水鳥池)で実施しました。第2回目は埼玉県久喜市・権現堂調整池(行幸湖)にて、地域イベント「行幸湖浮きウキフェスタ24」の一環として実施しました。



炭と藁をヤシ布の袋に詰め、竹や籐伐材でつくったいかにしぼります。浮島が竹でつくったレールをすべり、池に入った瞬間には思わず大きな歓声があがりました。袋の中に入れた藁が育ち、生きものたちの居心地の良いうみかとなることを願っています。

ビオトープ浮島 水辺の生態系回復プロジェクト 5ページにも報告あり

### ムササビのすみ森で

### クルミやブナの植樹体験

山梨県都留市にて2012年10月13日・10月27日に開催し、総勢16人のエコカード会員とご家族・ご友人が参加しました。今回は5m以上ある大きなブナとオニグルミを植えました。苗木ではなく、ある程度育った木を植えることで、より早く実をつけてムササビの食料になってもらうことがねらいです。

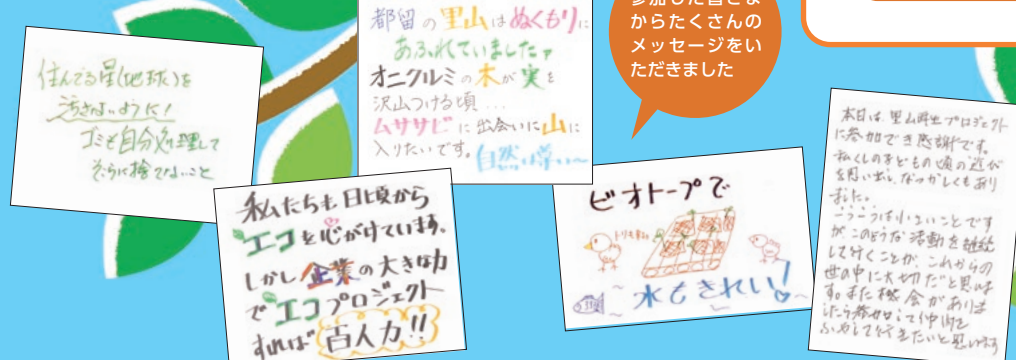


1回目のブナ

2回目のオニグルミ

森の生態系の役割やムササビが暮らす森づくりについての説明と、安全についての指導を受けた後、実際の植樹作業に入りました。まずは、木を植樹する場所まで移動させ、根の回りを腐葉土で埋め、周囲に土手を作り、十分な水を与えました。最後に木を3本の支柱でしっかりと固定しました。

ムササビとともに暮らす 里山再生プロジェクト 5ページにも報告あり

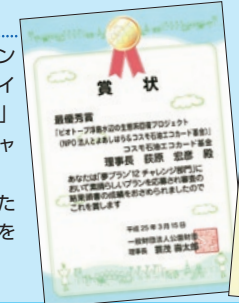


参加した皆さまからたくさんメッセージをいただきました

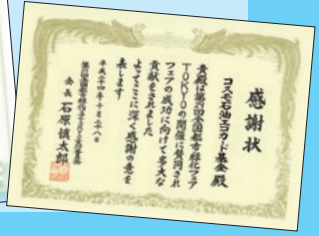
2013年度も各地でエコツアーを開催していきます。ぜひご参加ください!  
開催のお知らせはエコカード基金のホームページで随時公開します。

### TOPICS ビオトープ浮島づくりが受賞!

「夢プラン'12」は、市民が自由な発想で「公園でやってみよう」夢のプランを提案・実施するもので、一般財団法人公園財団が運営しています。アイデアを提案する「アイデア部門」と、実際にやってみる「チャレンジ部門」があり、国営讃岐まんのう公園(水鳥池)でのビオトープ浮島づくりが「チャレンジ部門」で最優秀賞を受賞しました。また、「第29回全国都市緑化フェアTOKYO」協賛イベントとして実施した上野恩賜公園「不忍池」でのビオトープ浮島づくりは、東京都から感謝状をいただきました。



(左) 夢プラン'12チャレンジ部門 最優秀賞状  
(右) 東京都からの感謝状





プロジェクトの2012年度取り組みレポート

より詳しい情報が掲載されています。「コスモ石油エコカード基金」のホームページをぜひご覧ください。 <http://www.cosmo-oil.co.jp/kankyo/>

**1-1**  
パプアニューギニア：熱帯雨林保全

エコカード会員×2人の支援  
(寄付金500円/人)で、  
村の女性1人が保健衛生講習を  
1回受けることができました。

パプアニューギニアで、安定した食糧自給や現金収入のために農業・畜産業の技術指導を14人に実施しました。養鶏を指導して住民が作った鶏舎では、約150羽のヒナが育っています。その他、養豚・養魚なども行っています。また、熱帯雨林資源を活用し収入源を得るために、新たにランの栽培もはじめました。2012年度は村の土地登記や、村民教育用の口座へ個人や村の収入の一部を積み立てはじめるなど、村民の自立意識を向上させる出来事もありました。

**1-2**  
ソロモン：熱帯雨林保全

エコカード会員×1,164人の支援  
(寄付金500円/人)で、  
研修生1人が日本で農業研修を  
受けることができました。

ソロモン諸島にて、安定した食糧自給や現金収入の確保のために、定置型有機農業の技術指導と普及に取り組んでいます。2012年度の研修は、通常の農業訓練に加え、専門家のもとでブタの放牧やコンポストづくりも行いました。生産物を加工・販売するアンテナショップの設置やジャムの試作など、現金収入につながるさまざまな取り組みも行っています。また、現地スタッフ2人が日本で農業研修を受けました。

**2**  
中国：シルクロード緑化

エコカード会員×1人の支援  
(寄付金500円/人)で、  
24本のサジーの  
植林ができました。

シルクロードの地、中国の黄土高原では急速に沙漠化が進んでいます。そこで、経済的な価値があり現地の気候に合う植物、沙棘(サジー)の苗基地を作り、地元農民に苗を供給しています。2012年度は甘粛省蘭州市でも活動を始め、67ヘクタールの土地に16万本もの沙棘の植林ができました。また、陝西省榆林市では、15ヘクタールの土地に4万5,000本を植林しました。活着率は80%と高く、植林後の生長も順調です。

**3-1**  
キリバス：南太平洋諸国支援

エコカード会員×1人の支援  
(寄付金500円/人)で、  
マングローブを2本、  
植えることができました。

南太平洋にあるキリバスは海抜が低く、海水面の上昇や波による土地の浸食が起こっています。そこで、海岸の浸食を防ぐためのマングローブ植林を、地元若者や子どもたちとともに進めています。開始から10年が経過し、地元では若者を中心に自主的な植林活動が広がっています。2012年度は、目標本数を大きく上回る8,322本のマングローブの種子を植え、キリバス共和国アナ・トン大統領からも高い評価をいただきました。

**3-2**  
ツバル：南太平洋諸国支援

エコカード会員×100人の支援  
(寄付金500円/人)で、  
3島でゴミ問題の啓発活動  
を行うことができました。

南太平洋のツバルでは海岸の浸食を防ぐマングローブ植林と、ゴミ問題の啓発活動を行っています。2012年度は首都のフナフチ環礁とヌクフェタウ環礁で5,300本の植林を行いました。地元青年団から植林協働の申し出があるなど、この活動が住民により自主的に広がっていくことが感じられます。また、子ども向けのごみ処理教育用ボードゲームは、配布済みの小学校高学年用の英語版に加え、低学年用のツバル語版も作成し配布しました。

**4**  
中国：秦嶺(シンレイ)山脈 森林・生態系回復

エコカード会員×1人の支援  
(寄付金500円/人)で、  
6.7本の苗木の  
植林ができました。

絶滅危惧種のキンシコウやジャイアントパンダなど、希少動物の宝庫であるシンレイ山脈において、動物の移動を妨げる使われなくなった林道へ植林することで、森の生物多様性を取り戻すことが目標です。2012年度は16kmの道路に12,500本を植林しました。活着率は約81%と高く、順調に緑化が進んでいます。大学などでの環境講座や、キンシコウの生態についての研究の支援も継続しています。地元のメディアに2回取り上げられるなど、注目も高まっています。

**5**  
中国：内モンゴル緑化

エコカード会員×10人の支援  
(寄付金500円/人)で、  
1人の小学生が環境教育を  
受けることができました。

沙漠化が進む中国の内モンゴル自治区に、経済的価値の高い沙棘(サジー)を植林し、現地の小中学生に環境教育を実施しています。2012年度は黄砂竜巻の影響で苗基地の移設を余儀なくされましたが、現地住民やツアー参加者により新たな苗基地に25万本の沙棘の挿し木ができました。また、活着率を高めるために、苗木の植林・育成方法を見直しました。小中学生への環境教育は、学校側との信頼関係ができ、スムーズに進められるようになりました。

**6**  
タイ：北タイ山岳地帯 共有林地図作成

エコカード会員×1,240人の支援  
(寄付金500円/人)で、  
1つの村の地図を  
作成できました。

国有化された森を共有林として申請するために必要な「地図」と、「村の百科事典」を作成して、村人が森を利用した持続可能な暮らしを実現することが目的です。2012年度は5つの村で地図を作成しました。行政区全体を意識した地図作りや、鳥や魚を基準にして地域の自然の状態を調べるなど内容をより向上させました。この活動のプロジェクトパートナーであるNPO法人「Link・森と人とをつなぐ会」はタイで財団化され、自治体との協働が決まるなど、今後の活動の発展が期待されます。

子どもたちもブロッコリー栽培を手伝います



ソロモン諸島の文化や環境問題を教わるワークショップ

熊本県の農家で栽培から販売までの一連の作業を体験しました



牡蠣養殖の漁師さんにお話を伺う

甘粛省蘭州市の苗基地



ボランティアの皆さんと森で実生を拾う

アラトコトコ小学校の子どもたちによる植林



植林地を歩いて昆虫採集しながら生態調査

子ども向けのごみ処理教育用ボードゲーム「Go-Meele(ゴーミー)」を囲んで



行幸湖の浮島と白鷺

表情豊かなキンシコウ



パプアニューギニアのジャングル調査

新しい苗基地にはスプリンクラーがあります



枝でカモフラージュした野生生物の観察小屋

ノンパカー村で「村の百科事典」の完成式



ゴムボートをみんなで漕いで、がれきのなくなった九嶋き浜へ

**7**  
日本：さとやま学校

エコカード会員×46人の支援  
(寄付金500円/人)で、  
小学生1人が環境教育を  
受けることができました。

長野県飯綱町の耕作放棄地を活用して雑穀栽培などを通じた「里山」の保全・再生と、都市部の小学生に環境プログラムを実施して次世代を担う人材を育成することが目的です。2012年度の環境プログラムでは、農家の方を招いての授業や日本の農業問題・世界の環境問題を学ぶ授業のほか、ソロモン諸島の環境問題や文化を学ぶ授業も行いました。栽培した雑穀を都市部のイベントで販売したほか、農作業体験ツアーなども引き続き行っており、農村と都市部の交流を深めています。

**8**  
日本：野口健 環境学校

エコカード会員×203人の支援  
(寄付金500円/人)で、  
「環境メッセンジャー」1人が  
誕生しました。

自分から環境に対して働きかけ、多くの人にメッセージを発信できる「環境メッセンジャー」の育成を目的に、アルピニストの野口健さんを校長とした「環境学校」を開催しています。2012年度は宮城県石巻市で開催し、18人が参加しました。漁業体験などとともに、がれきの残る石巻を見て、多くのことを感じました。また10周年として、2013年3月20日に記念シンポジウムを開催。過去に環境学校に参加した環境メッセンジャーが集まり、これまでにやってきたことを発表し合いました。

**9**  
日本：種まき塾

エコカード会員×1人の支援  
(寄付金500円/人)で、  
2本の苗木を  
供給できました。

樹木の種や実生(種から発芽したばかりの木)を集めて生長させ、北海道内で植林する団体に苗木を提供しています。地域にもともとある樹種を植えることが、本来の植生回復につながると考え、赤エゾマツやミズナラなどを育成しています。2012年度は8,030本の苗木を提供しました。育苗や種まき体験には延べ570人が参加しました。苗畑に種をまき、体験参加者の心にもエコの種をまくということで、キャッチフレーズは「ココロと大地に未来のタネを蒔く」です。

**10**  
日本：どんぐりの森 里山再生

エコカード会員×5人の支援  
(寄付金500円/人)で、  
2本の植林ができました。

山火事跡から里山の復興をめざすプロジェクトです。2011年に続いて、6月にどんぐりがなるコナラを約3,100本、ヤマモミジを約100本など3,560本を、1ヘクタールの里山に植林しました。8月には炎天下での草刈りも実施。さらに生物多様性調査を通年で行っています。夏には信州大学の協力のもと、地元子どもたちと昼は昆虫採集をし、夜はライトトラップに集まる昆虫を観察しました。トンボやチョウをはじめ、多くの昆虫を発見することができました。

**11**  
日本：ピオトープ浮島 水辺の生態系回復

エコカード会員×18人の支援  
(寄付金500円/人)で、  
1人がピオトープ浮島作成を  
体験できました。

間伐材や竹材、炭などで作った浮島には植物が茂り、生きものが集まります。炭(と炭にすみつく微生物の働き)で水質が浄化されて水生生物も増え、生物多様性が豊かになることが期待されます。2012年度は3カ所で計4回実施し、そのうち2回がエコカード会員向けエコツアールでした。香川県の国営讃岐まんのう公園「水鳥池」で1回、東京都上野恩賜公園「不忍池」で2回、埼玉県久喜市の権現堂調整池「行幸湖」で1回、各回それぞれ子どもや学生を含む50~250人ほどが参加し、浮島を作りました。

**12**  
日本、南太平洋諸国・南太平洋諸国生態系保全

エコカード会員×147人の支援  
(寄付金500円/人)で、  
1人が研究会に  
参加できました。

2012年度は、活動をより活発化するため、全体会合のほかに、東京・関西でそれぞれ7回の研究会を開催し、また合宿での研究も実施しました。現地調査は、2012年11月にはソロモン諸島とパプアニューギニアで、2013年2月にはフィジーとパプアニューギニアで実施しました。現地のさまざまな施設・場所を訪問し、多くの専門家からの聞き取り調査もできました。そして、これらの情報をまとめる合宿研究会も3月に高知県で実施しています。

**13**  
日本：ムササビとともに暮らす 里山再生

エコカード会員×76人の支援  
(寄付金500円/人)で、  
ムササビの観察入山調査が  
1回できました。

富士山の北東でムササビと人が共生する森をつくるプロジェクトです。2012年度は、森林整備を行うフィールドの野生生物調査を132回実施しました。多くの生きものを確認し、ムササビの行動ルートもわかりました。また、森の発達を促進させるため、0.2ヘクタールの森林を整備。間伐を行いました。秋に2回開催したエコツアールでは、5mもの大きさのブナやオニグルミを植えました。今後も、ムササビがすみやすい空間を作りつつ、将来的にえさとなる広葉樹や照葉樹を植えていきます。

**14**  
日本：東日本大震災復興支援 森は海の恋人

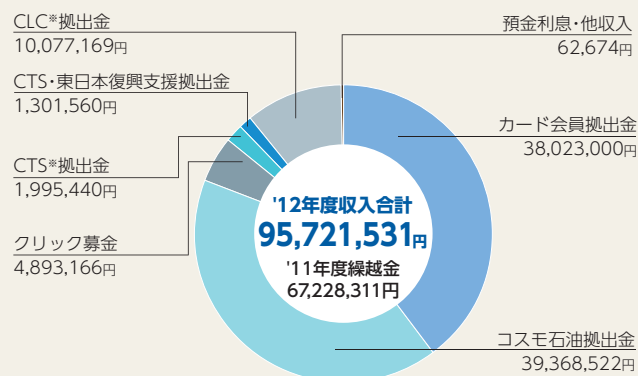
エコカード会員×79人の支援  
(寄付金500円/人)で、  
1人がサマースクールに  
参加できました。

東日本大震災で子どもたちの遊ぶ場所が少なくなり、自然離れが進んでいます。自然と人、人と人のつながりを感じ、心を解放することで、生きる喜びを感じられると考えています。7月・8月にかけて3回開催した、2泊3日の子どもサマースクールには、計約40人の子どもたちが集まりました。里海体験では、がれきが撤去された浜で海水浴や釣りをして、牡蠣養殖を見学しました。里山体験では、川遊びやツリークライミングで全身を動かして、川で捕まえた鮎などについて学びました。



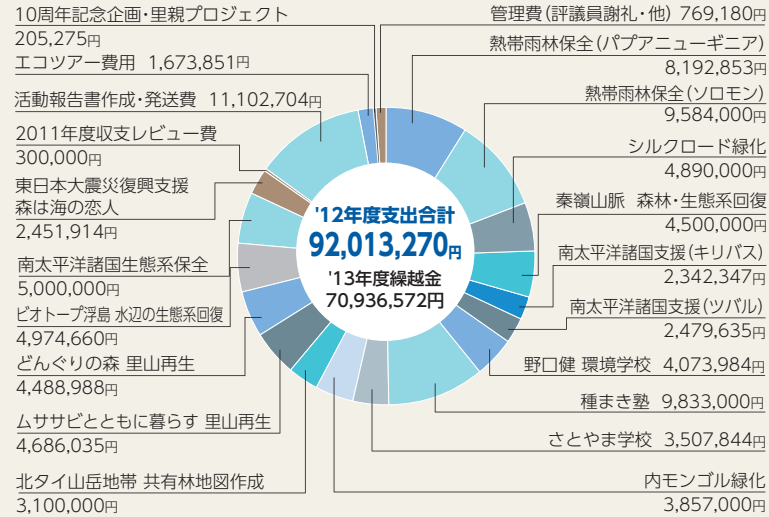
収支報告

【収入合計】

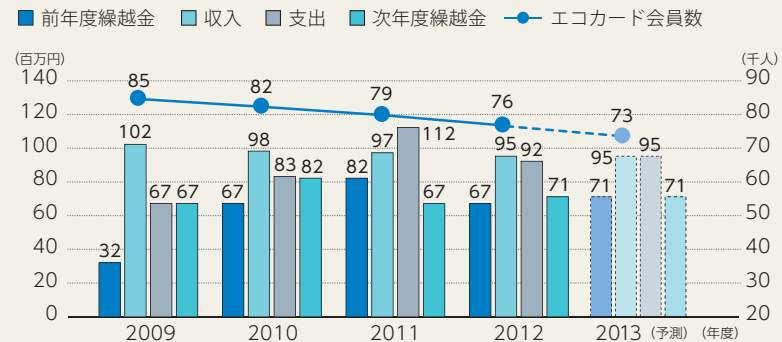


●補足説明  
2012年度はエコカード会員の減少が響き、収入が9千5百万円となりました。支出は里親プロジェクトや学校の環境教育支援が終了したことで、9千2百万円となり、7千円を次年度に繰り越すことができました。

【支出合計】



【資産規模と会員数の推移】



収支計算書に対する独立した公認会計士のレビュー報告書 (抜粋)

私は、コスモ石油エコカード基金の委嘱に基づき、同基金の2012年度(2012年4月1日～2013年3月31日)の収支計算書についてレビューを行った。この収支計算書の作成責任は基金の代表者にあり、私の責任は、独立の立場から実施したレビューに基づき収支計算書に対する結論を表明することにある。日本公認会計士協会監査・保証実務委員会研究報告第20号「公認会計士等が行う保証業務等に関する研究報告」に準拠してレビューを行った。その結果、上記の収支計算書が、我が国において一般に公正妥当と考えられる収支計算の基準に準拠して、基金の収支の状況を適正に表示していないと認められる事項は、すべての重要な点において発見されなかった。

2013年5月10日 公認会計士 加藤 俊也

コスモ・ザ・カードのご紹介

コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」、コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」は、「地球のために何かしたい」という思いを実現するための、どなたでも参加できるカードです。

コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」、コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」は、お客さまから毎年お預かりしている500円とコスモ石油グループからの寄付金を、環境保全活動を行うNPOや公益法人などに寄付することで、その活動をサポートしていきます。



コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」  
コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」  
会員の皆さまからの寄付

+

コスモ石油  
グループの寄付

入会後、および次年度以降の入会月に500円の寄付をお預かりします

地球環境保全をサポートする  
「ずっと地球で暮らそう。」  
プロジェクトを運営

コスモ石油のカードに関するお問い合わせ先

コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」  
0120-987-622  
携帯専用 03-4330-1660  
月～土曜・祝日 / 9:15～17:30  
日曜日 / 10:00～17:30

コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」  
北日本 022-771-1500  
東京 043-296-6200  
中部 059-353-2100  
大阪 06-4863-0100  
年中無休 9:00～21:00

コスモ石油ルブリカンツ株式会社  
環境対応ディーゼルエンジンオイル  
コスモECOディーゼルシリーズ

大気汚染物質の低減のため、DPF装着車が普及していますが、従来のディーゼルエンジン油では目詰まりを起こしやすく、触媒の性能を低下させるという問題がありました。コスモECOディーゼルシリーズは、この問題を起こす成分を削減し、さらにエンジンの長寿命化・省燃費化に貢献する製品です。この製品の売上の一部がコスモ石油エコカード基金に寄付されています。2012年度は、10,077,169円が拠出されました。



http://www.cosmo-lube.co.jp/lub/lubproduct10.html

株式会社コスモトレードアンドサービス  
充電制御システム搭載車対応環境配慮型バッテリー  
コスモECOR

充電受入性が高く、バッテリー充電のためのオルタネータ(自動車の発電機)を動かす燃料を節約できるため、CO<sub>2</sub>排出量削減・燃費向上に貢献する製品です。この製品の売上の一部がコスモ石油エコカード基金に寄付されています。2012年度は、1,995,440円が拠出されました。



http://www.cosmo-trade.com/goods/carcare/ecor.html

2013年度 エコツアー  
参加者募集のお知らせ

今年もエコカード基金のプロジェクトを体験できるエコツアーを開催します。会員の皆さまが支援しているプロジェクトを、実際に「見て」「聞いて」「触って」体験してみてください。

詳しい資料請求は、アンケートからお申し込みください。  
また、ホームページでも情報を掲載・更新していきます。

「ムササビとともに暮らす 里山再生」植樹体験エコツアー

今年もムササビのすみ森に植樹作業を行います。森林整備や広葉樹の植林によって生物多様性を高め、ムササビの生息域を広げることにつながります。昨年同様、大きめの樹木をチームで植えていきます。また、昨年植えた樹木や今年植える樹木を中心に、樹木調査(樹高・幹周り、種別などを調べる)も実施し、森や生物多様性への理解を深めます。

形式: 東京駅付近集合・解散の日帰りバスツアー  
(現地集合・解散は応相談)  
実施日: 10月5日(予定)  
場所: 山梨県都留市(東京駅付近集合・解散)  
募集人数・費用: 未定



「ピオトープ浮島 水辺の生態系回復」エコツアー

間伐材や竹、炭などの自然に還る素材を使って浮島をつくり、湖沼に浮かべるプロジェクトです。作成した浮島は動植物の生息場所(ピオトープ)となり、水辺の生態系回復の一助となります。

形式: 現地集合・解散  
実施日: 秋に行うことで調整中  
場所: 関東地方  
募集人数・費用: 未定



マングローブ植林をしている  
キリバスからプレゼント!

マングローブの種からつくったボールペン



photo by M. Nagasaki

このマングローブペンは、キリバスに自生し、マングローブ植林の主要樹種になっているヤエマヒルギの散布体(木からぶらさがった状態で種子から芽がでて伸びたもの)をボールペンの軸に使っています。多くの散布体は、母樹から落ちて発根・発芽することなく、海岸に打ち上げられます。それらは眩しい太陽のもと、茶色く乾燥してしまい、二度と発根・発芽することはありません。そのため植林のときは、木にぶらさがっている散布体を探取して、それを直接、砂浜に押し付けることで植林します。今回のボールペンには、発芽せず茶色く乾燥したものを拾い集め、散布体の先端に穴を開け、芯を入れてボールペンにしてみました。



マングローブ植林で活躍する現地の皆さんが、エコカード会員の皆さまに感謝をこめて、これまで使い道のなかった乾燥したヤエマヒルギの散布体を、ボールペンに生まれ変わらせたものです。自然の手触りを感じていただき、はるかかなたのキリバスのマングローブ植林に思いをはせていただければ嬉しいです。

このマングローブボールペンを下記のアンケートの景品として100名に提供します。ぜひアンケートにお答えの上、ご応募ください。

コスモ石油エコカード基金活動報告書2013  
アンケート

締め切り: 2013年8月

いつも「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトが大好きです。今後の取り組みやアンケートを実施させていただきます。

内に印☑をお付けください

1. エコカード会員さまのプロフィール

●性別  男性  女性 ●年齢

2. 本活動報告書をお読みになつた感想

- わかりやすさ  
 わかりやすい  普通  わかりにくい
- 情報量  
 多すぎる  適切  足りない
- 読みやすさ(デザイン、文字の大きさ、グラフなど)  
 読みやすい  普通  読みにくい

3. どのプロジェクトに関心をお持ちですか(3つまで)

- 熱帯雨林保全[定置型有機農業支援](バブアニューギニア/ソロモン)
- シルクロード緑化(中国)
- 南太平洋諸国支援(キリバス/ツバル)
- 秦嶺山脈 森林・生態系回復(中国)
- 内モンゴル緑化(中国)
- 北タイ山岳地帯 共有林地図作成(タイ)
- さとやま学校(長野県)
- 野口健 環境学校(全国)
- 種まき塾(北海道)
- どんぐりの森 里山再生(長野県)
- ピオトープ浮島 水辺の生態系回復(埼玉県他)
- 南太平洋諸国生態系保全(日本、南太平洋諸国)
- ムササビとともに暮らす 里山再生(山梨県)
- 東日本大震災復興支援 森は海の恋人(宮城県)

※アンケートおよびボールペンのプレゼントはエコカード会員を対象に郵送した報告書紙面にて実施しました。このPDFからはご応募いただけません。



記入欄

個人情報(住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号、メールアドレス)の提供を許可する(個人情報の利用を許諾)

「ムササビとともに暮らす 里山再生」植樹体験エコツアー(個人情報の利用を許諾)  
「ピオトープ浮島 水辺の生態系回復」エコツアー(個人情報の利用を許諾)

アンケートの集計とプレゼントの発送、エコツアーの資料発送のみを目的として利用します。エコツアーの資料はご請求時点で計画されているものになります。

プレゼントに応募される方は、下の欄に会員番号・お名前をご記入ください。「会員番号」とは、コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」、コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」のカード裏面に印字されている16桁の番号です。下記の見本をご参照ください。



会員番号	
お名前(フリガナ)	

ご協力ありがとうございました。締め切り: 2013年8月31日(土)

## 「コスモ石油エコカード基金」のホームページのご紹介

各プロジェクトの概要をお知らせするホームページとともに、現地視察のご報告や各プロジェクトパートナーから届いた日々の活動の様子などの情報をお届けする事務局レポート(ブログ)をご用意しています。



コスモ石油エコカード基金活動紹介  
http://www.cosmo-oil.co.jp/kankyo/eco/



コスモ石油エコカード基金事務局レポート  
http://cosmooil.info/

## 1日1回インターネットから募金ができる!

コスモ石油のクリック募金サイトでは、お好きなプロジェクトを選んでクリックすると、クリックの数だけコスモ石油がエコカード基金に寄付します(クリックは1人1日1回1プロジェクトまで)。2012年度は4,893,166回(=円)のクリックがありました。



http://www.cosmo-oil.co.jp/kankyo/charity/  
ホーム>環境活動>クリック募金

### モバイル版クリック募金はここから

モバイル版クリック募金には、コスモ石油公式モバイルサイトからも参加できます。



## TOPICS

### 日本最大の環境展示会 「エコプロダクツ 2012」に出展

コスモ石油は、毎年12月に行われる日本最大の環境展示会エコプロダクツ展に毎年出展しています。2012年は、環境クイズや紙しばい、野口健さんによるトークショー等を行い、たくさんの方にエコカード基金の活動を知っていただきました。



環境の大切さを学べる紙しばいを上演しました。子どもはもちろん、大人も熱心に聞き入っていました。

ブース全体を木で作り、人工的な展示会場の中でやすらぎの場所を提供しました。



クイズラリーに参加してくれた子どもたちにはエコカード基金のスペシャル・サポーターカードをプレゼントしました。

エコプロ 2013 も出展予定です。お楽しみに!

コスモ石油  
エコカード基金

〒105-8528 東京都港区芝浦一丁目1番1号東芝ビル  
コスモ石油株式会社 経営企画ユニット コーポレートコミュニケーション部  
広報室内 エコカード基金事務局 TEL 03-3798-3101



きりとり

のりしろ ②

## 応募方法

料金受取人払郵便

105-6690

※アンケートおよびボールペンのプレゼントは  
エコカード会員を対象に郵送した報告書紙面  
にて実施しました。  
このPDFからはご応募いただけません。

この面を内側に折り込む

のりしろ ②

※個人情報等をご記入いただくため、しっかりとりのりつけてください。  
※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

※ご記入いただいた個人情報は、アンケートの集計とプレゼントの発送、エコツアーの資料発送のみを目的として利用します。それ以外の目的で利用することはありません。  
※当社の個人情報の取り扱いについては、ホームページ  
http://www.cosmo-oil.co.jp/privacy/policy.html  
をご参照ください。  
※住所変更等、カードに関するお問い合わせについては、下記までご連絡ください。

コスモ・ザ・カード・ハウス[エコ]  
0120-987-622 携帯電話専用: 03-4330-1660  
月~土曜 祝日/9:15~17:30 日曜日/10:00~17:30

コスモ・ザ・カード・オーバス[エコ]  
北日本: 022-771-1500 東京: 043-296-6200  
中部: 059-353-2100 大阪: 06-4863-0100  
年中無休 9:00~21:00

信用封筒

事務局行  
コーポレートコミュニケーション部 広報室内

経営企画ユニット  
コスモ石油株式会社

東京都港区芝浦1丁目1番1号  
東芝ビルディング 私書箱 35

### 活動報告書アンケート&エコツアーのお知らせ

この返信用封筒一通で、エコカード基金に関するアンケートの回答とエコツアーの資料請求の両方を行っていただけます。どちらか一方だけでもかまいません(アンケートだけを回答、またはエコツアーの資料請求だけ)。アンケートにご回答いただいた方の中から100名様に、マンガロープの種で作ったボールペンをプレゼントいたします。  
なお、アンケートのご回答・エコツアーの資料請求は、コスモ石油エコカード基金ホームページからも可能です。  
http://www.cosmo-oil.co.jp/kankyo/

アンケートの締め切り: 2013年8月31日(土) 消印有効  
(これ以降の場合、プレゼントの抽選対象にはなりません)

のりしろ ②